

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（9月定例会）
開催日時	平成29年9月11日（月）14時00分から16時00分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：内田議長、木下副議長、川原委員、攝賀委員、 沼本委員、長谷川委員、服部委員、原委員、矢野(真)委員 事務局：神田係長、奥住主事
議題	(1) 今期の活動テーマについて (2) その他
配布資料	—
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成29年8月の定例会議の会議録について、承認する。</p> <p>(1) 今後の活動テーマについて</p> <p>○議長：前回会議で、前期委員から引き続き、放課後子供教室事業について取り組むことを決定した。ヒアリング調査のまとめを参考に、意見等あればお願いします。</p> <p>○委員：本来の子どものあるべき姿を考慮し、社会教育的視点から、本事業について考えたい。</p> <p>○委員：まずはヒアリングで得た情報を整理し、今後の方向性を定めたい。それを基に議論を進めると良いと思う。</p> <p>○委員：そもそも本事業は、子どものためにあるのか、それとも大人の都合によるものなのかについて、共通の認識を持った上で議論したい。</p> <p>○委員：アンケートを実施しても良いと思う。</p> <p>○委員：放課後子供教室事業に限定せずに、放課後の子どもの過ごし方自体の情報を収集する必要があると思う。</p> <p>○委員：西東京市の実態を踏まえた議論が必要である。</p> <p>○委員：単純に子どもの居場所の選択肢を増やすという意味で、全校同様に実施することを目標としても良いのではないか。</p> <p>○委員：現状を把握し、各校の要望を探り、運協自身で解決できるのか、行政のサポートが必要なのかなども考えられると良いと思う。</p> <p>○委員：そもそも本事業の担い手は、運協が相応しいのかなど、事業の始まりから考えたい</p>	

- と思った。
- 委員：本事業の実施は、地域にとって有意義だと思う。また、本事業についての理解は各担当で違いがあり、目指すところも何か提案等できれば良いと思った。
 - 委員：将来的に、継続できる事業体制や継続するためにはどのようなことが必要かについて議論するべきだと思う。
 - 委員：「放課後子供教室」というネーミング自体が誤解を生んでいるのではないかと感じた。放課後子供教室事業は預かりの場の提供ではないことを周知しても、正確に伝わっていない部分が多いと思う。
 - 委員：就労している女性が増加傾向にあり、現状に即した事業展開が求められると思う。運営側の人材集めについても、工夫が必要である。
 - 委員：ヒアリングの際、学校施設開放運営協議会（以下「運協」）内での情報共有がうまくいっていないように感じた。各学校内外問わず、情報共有がしやすい仕組みづくり等を社会教育委員としてサポートできると良い。
 - 委員：学校の理解や協力を得るためにも、第一に安全管理について考えるべきだと思う。
 - 委員：行政として、今後どのような支援ができるかの提案も並行して進めたい。
 - 委員：将来、本事業に参加していた子どもが、担い手として戻ってくると良いと思う。そういうサイクルを作る工夫を考えたい。
 - 委員：本事業の性質上、民間委託を検討しても良いと感じた。
 - 委員：居場所の提供ということであれば、学童クラブだけでも十分だと思う。
 - 事務局：学童に通所している子どもは学童クラブしか居場所の選択肢がないので、そのような子どもにも選択肢を増やしてあげたいというところである。また、学童クラブは保護者が完全就労でないに通所が難しいということもあり、家に一人であるよりも、そのまま学校に留まり、過ごした方が安全であるという考えもある。
 - 委員：放課後の子どもの安全な居場所をと思っている保護者は多いと思う。未就学のころは夕方まで保育園を利用できたが、小学校に上がると、そういった居場所は用意されていない。
 - 委員：福祉分野でも同様な取り組みがされていると思うので、社会教育でなくても良いのではと思うところもある。
 - 委員：社会教育的にというと、最近の子どもは一度帰宅してから、また外で集まって何かをするという習慣があまりないように感じる。子どもを軸に地域の大人が関わりを持つことで、大人と一緒にあって、集団活動を学んでいくことができると思う。子どもも大人も、互いに貴重な経験の場となると思う。
 - 委員：子どものことを考えると、やはり各地域に合う実施が望ましい。全校で同じようにと強制するのは無理があるし、実情に即したものにならないと思う。それぞれに合う実施ができるよう支援していくのが社会教育委員としてできることではないかと思う。
 - 委員：以前は町内会等の制度で子どもが地域と関わりを持つ機会が多かったが、最近では地域と関わりを持つ子どもは減少傾向にある。このように、日々変化している状況を考えて、柔軟に物事を捉え、考えなければいけないと思う。人材確保については、もっと議論し、可能性を広げるべきだと思う。大学生の協力は、すでに取り入れている学校もあるが、双方にとって有意義だと思う。
 - 委員：子どもの居場所についてどのように関わっていくかをもっと柔軟に考え、不足を補えたら良いと思う。
 - 委員：1つずつ議論し、会議全体で共通の理解を持ちつつ、進めたい。

○議 長：今日出た意見と、これまでの資料等を参考に、各自課題等についてまとめ、事務局へ提出をお願いします。締め切りは10月6日（金）とする。

（2）その他

※第48回関東甲信越静社会教育研究大会静岡大会について

- 事務局より説明及び確認。
- ・日時…平成29年11月16日（木）、17日（金）
- ・会場…プラサヴェルデ沼津（静岡県沼津市）
- ・参加委員…8名

※平成29年度第1回学校施設開放運営協議会連絡会及び研修会の開催について

- 事務局より説明。
- ・日時…平成29年10月5日（木）午前10時から
- ・会場…保谷庁舎4階研修室

○事務局：放課後子供教室に関連した研修となっている。当日参加も可能なので、都合が良ければ出席をお願いします。

○議 長：それでは以上で本日の社会教育委員の会議（9月定例会）は終了する。

※次回会議 平成29年10月16日（月）午後2時から